



三重県公立小中学校教頭会
〒514-0003 津市桜橋2丁目142
教育文化会館別館3階
TEL 059(228)2340
FAX 059(228)2271
E-mail: mieheadt@hyper.ocn.ne.jp



5月11日（金）に開催された「三重県公立小中学校教頭会総会」におきまして、私を含め8名を新役員として選任していただきました。昨年50周年記念式典が行われ、先輩方が築かれた歴史を感じましたが、このような重責を務めさせていただくことになり、身が引き締まる思いです。役員一同、精一杯務めさせていただきますので、会員皆様のおたたくいご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。

さて、平成29年3月に文部科学省から「新学習指導要領」が示され、今年度から小中学校での道徳の教科化、小学校においては英語科の導入が目前の状況となっています。このような変革の時期においても、教職員一人ひとりが自信と誇りをもって子どもたちと向き合い、教育の創造に向けた学校運営を目指すため、私たち教頭には、子どもたちの変化や、社会の動向を把握し、よりよい教育のあり方を模索し続けることが求められています。

私たちは、学校運営において教頭としての多岐にわたる関わりを大切にし、日々多くの職務に取り組んでいます。特に教頭として、その組織への関わり方について、職務遂行能力を高めていく必

要があると思います。学校をどのように組織し、組織力で「人づくりの場」を作っていくかは、私たちの最重要の職務であると思います。学校だけでなく、保護者も地域も諸機関もつながった学校として運営できるように、教頭が中心となって日頃から取り組んでいきたいと思っています。

本教頭会は「政策提言能力を備えた職能研修団体」として、学校現場における教育活動の充実に向けた提言を行い、職務に関する研究や調査をもとに教頭としての資質を高めるだけでなく、会員の地位向上を図ることを目的にしています。総会で決議いただきました5つの活動目標のもと取り組んでまいります。

私たちの職務は多種多様ではありますが、多くの方との協働の活動を少しでも楽しめるよう励んでいけたらと思っています。

会員の皆様方の力強いご支援とご協力を重ねてお願いし、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。



平成30年度 県教頭会本部役員名

役 職	名 前	学 校 名	名 前	学 校 名
会 長	植 田 源 嗣	明 小 学 校		
副 会 長	川 崎 誠	治 田 小 学 校	楠 敏 幸	高 茶 屋 小 学 校
〃	藤 山 秀 公	島ヶ原中 学 校		
書 記	國 富 朋 子	朝 日 小 学 校	濱 川 邦 良	浜 島 中 学 校
会 計	坂 井 陽 子	粥 見 小 学 校	齋 藤 隆 彦	成 川 小 学 校

事務局長	辻 幸 子
事務局員	黒 田 敦 子

mieheadt@hyper.ocn.ne.jp
 URL : <http://mie-kyotokai.jp>
 (ホームページアドレス)

平成30年度 郡市会長・理事名

郡 市 名	会 長		理 事	
	名 前	学 校 名	名 前	学 校 名
桑名市・桑名郡	喜 多 宣 充	在 良 小 学 校	吉 本 茂 甲	大 山 田 西 小 学 校
いなべ市・員弁郡	三 和 幸 弘	東 員 第 一 中 学 校	三 和 幸 弘	東 員 第 一 中 学 校
四日市市(小)	奥 井 工	中 央 小 学 校	三 輪 真 裕 美	大 矢 知 興 讓 小 学 校
四日市市(中)	小 林 正 英	山 手 中 学 校	井 上 勝 史	内 部 中 学 校
三 重 郡	齋 藤 孝 太 郎	朝 日 中 学 校	染 井 桂 子	菰 野 小 学 校
鈴 鹿 市	小 林 信 吾	郡 山 小 学 校	藤 本 尚	玉 垣 小 学 校
亀 山 市	谷 本 康	野 登 小 学 校	岩 間 浩 哉	関 中 学 校
津 市 北	山 本 博	草 生 小 学 校	瀬 古 口 明	豊 津 小 学 校
津 市 中	富 田 知 旨	西 橋 内 中 学 校	松 本 裕 子	北 立 誠 小 学 校
津 市 南	西 尾 潤 一	久 居 東 中 学 校	小 林 清 人	一 志 中 学 校
松 阪 市	吉 永 泰 志	機 殿 小 学 校	村 田 功	東 部 中 学 校
多 気 郡	中 山 恵 子	三 瀬 谷 小 学 校	千 原 吉 浩	下 御 糸 小 学 校
伊 勢 市	橋 本 顕 彦	二 見 浦 小 学 校	松 村 絵 里	五 十 鈴 中 学 校
度 会 郡	小 原 俊 英	下 外 城 田 小 学 校	福 井 清	大 宮 中 学 校
鳥 羽 市	小 西 正 修	加 茂 中 学 校	小 竹 和 代	鳥 羽 小 学 校
志 摩 市	小 川 美 代 子	志 摩 小 学 校	浦 谷 浩 治	大 王 中 学 校
伊 賀 市	三 木 茂	崇 広 中 学 校	吉 村 育 紀	阿 山 中 学 校
名 張 市	篠 木 素 道	北 中 学 校	西 澤 祐 子	比 奈 知 小 学 校
紀 北	西 田 昌	矢 口 小 学 校	森 能 生	東 小 学 校
紀 南	長 嶋 一 朗	飛 鳥 小 学 校	濱 田 充 宏	神 志 山 小 学 校

平成30年度 新任 教 頭 名

7月1日現在

地域	名 前			学 校 名			名 前			学 校 名			名 前			学 校 名							
北	山井	中	久	佳	七	和	小	小	林	信	行	久	米	小	中	村	佳	代	大	山	田	東	小
	佐橋	榊	里	美	多	度	小	小	内	昌	孝	長	島	北	小	栖	太	志	城	山	南	小	小
勢	岡西	尾	幸	弘	伊	曾	小	小	伊	康	宏	明	正	西	山	本	太	郎	木	曾	岬	小	小
	高田	林	良	尚	十三	社	小	小	山	真	子	員	弁	山	藤	喜	美	子	川	島	小	小	小
津	稲大	森	良	知	浜	和	小	小	荒	貴	也	城	原	田	丹	美	之	川	大	谷	台	小	小
	浅大	井	和	裕	下	野	小	小	東	せ	毅	河	常	富	加	浩	介	一	天	鼓	ヶ	浦	中
松	片内	賢	直	樹	養	正	小	小	前	聡	成	修	成	小	植	哲	也	芸	生	東	橋	内	中
	東勝	直	規	久	新	町	小	小	水	博	子	藤	水	小	足	し	お	育	安	東	南	栗	香
阪	濱三	口	洋	子	朝	見	小	小	石	典	子	掃	水	小	松	和	美	松	尾	一	星	小	小
	大青	辻	英	則	德	和	小	小	岡	佳	淳	米	ノ	小	油	雅	司	第	明	星	小	小	小
南	阿西	山	季	之	明	倫	小	小	泉	惠	子	佐	八	小	北	美	代	豊	浜	西	中	中	
	瀬紋	木	克	武	城	田	小	小	中	史	朗	東	大	淀	小	孝	久	厚	大	宮	小	小	小
伊	小牧	林	尚	宏	二	見	小	小	山	正	俊	御	蘭	中	岡	知	人	島	青	ヶ	原	中	
	廣上	川	一	彦	伊	丸	小	小	作	久	紀	七	保	小	山	浩	和	大	島	ヶ	原	中	
紀北	村垣	智	子	上	野	西	小	小	堀	実	和	久	米	小	手	ひ	と	島	ヶ	原	中	中	
	山脇	素	代	大	山	田	小	小	宮	晃	治	霊	峰	中	福	良	和	青	ヶ	原	中	中	
紀南	大藤	伸	之	赤	羽	中	中	中	堀	竜	彦	潮	南	中	井	聡	美	三	船	中	中	中	
	奥西	隆	志	新	鹿	谷	小	小	寺	育	史	金	山	小	下	克	典	有	馬	中	志	園	



119名の方が本年度新しく教頭として着任されました。フレッシュな声をお届けします。



「新しい出会い」

桑名市立伊曾島小学校

佐藤直史

教頭として、初めて着任する日。着任式で教育長から、「教頭とは、字のごとく教師の頭であり、学校の要となって活躍していただきたい。」とお言葉をいただきました。その責任の大きさを感じながら、夢と希望をもって、子どもたちや先生方、地域の方々と新しい出会いの時を迎えました。初めての職務で分からないことが多くあり、不安になることもありますが、毎日子どもたちの笑顔を見ていると心が安らぐと共に、「頑張ろう。」と気が引き締まる思いになります。「子どもたちに、私たちができることは何か・・・。」現状に甘んじることなく、職場の先生方と日々「共闘」しながら、具体的方法を探していきたいです。そして、互いに磨き合い、高め合う気持ちを持ち続け、子どもたちと接していきたいと思います。



「感謝」

東員町立城山小学校

島田真也

「教頭先生！」と呼びかけられても、とっさに認識できず、「あ、自分のことだ」と反応がワンテンポ遅れることもしばしば。初めての小学校勤務ということも重なり、「気が利かない自分」にがっかりの毎日ですが、子ども達からの挨拶や話しかけに心を癒してもらっています。教頭会では、先輩の方々から困っていることや相談したいことがないか聞いていただき、大変心強い限りです。忙しい中、校長先生、職場の皆さんに大変温かく支えていただき、家族の協力も含め感謝の毎日です。城山小の職場の良さを更に伸ばし、学校力を高められるよう、日々笑顔で精一杯頑張りたいと思います。



ふるさと帰影响着任

四日市市立富洲原小学校

東 せい

5年ぶりの学校現場勤務となり、心や体がついていけるだろうか心配していたが、有難いことに初任として勤務した学校に着任することとなった。

校舎や校庭は昔のままの姿で私を迎えてくれた。また、かつての教え子に入学式や授業参観で保護者として再会したり、同僚として勤めた先生方と再び職場を共にできたりと、まるでふるさとにもどったような温かい雰囲気の中で勤めさせてもらっている。

私が初任の時にすでに骨董品のような雰囲気で印刷室に鎮座していた裁断機が、四半世紀以上の時を経てまだ同じ場所にあるのを見つけた。学校をとりまく環境や子どもたちは常に変化しているが、学校の中は案外変わらないのかもしれないなぁと思いながら、楽しく充実した毎日を過ごさせてもらっている。



「笑顔と元気を モットーに！」

菰野町立菰野中学校

大矢知 正 裕

4月1日、「さあ新年度が始まるぞ！」と爽快な目覚めで1日が始まりました。本年度から新天地への異動で、意気揚々と出勤準備をしている私に、息子が一言。「今日、日曜だよ」…。この何気ない会話が、私の元気の始まりです。

職場でも、職務が変わり初めてのことが多く、覚えることで精一杯の毎日です。しかし、学校長やもう一人の教頭（本校は二人教頭）が私を支えてくれます。本校に着任してわずか1か月と数日ですが、自分にとって笑顔の絶えない充実した毎日です。とても有難く感じています。

他の職員は、子どもと向き合うことを大切に考え、日々の教育活動に専念しています。仕事を遂行する上で喜びがあれば、当然苦悩もあります。私は、職員にとって困難を乗り越え改善への展望が持てる職場を保ちたい。そのために、何より日常の対話を大切に考えています。私も、他の管理職や職員、時には保護者・地域の方との対話からたくさんの元気をいただいています。

元気は自然と笑顔をつくり、笑顔は対話を弾ませ、さらなる元気をつくります。私は、このような好循環をつくっていきたいと思います。



「Tradition」

四日市市立羽津中学校

小林 晴 光

本校はノーチャイム。始まりは24年前。ある日、生徒が合唱していると、「キーンコーンカーン」。生徒たちは「せっかく気持ちよく歌っていたのに、チャイムが…。」この声がきっかけとなり生徒会が働きかけ、現在に至ります。今も引き継がれる良き伝統です。

また、羽津の山々に響く歌声「山のコンサート」。垂坂公園・羽津山緑地で大合唱が響き渡ります。このコンサートも地域から愛されている伝統です。

これらの伝統を引き継ぎ守り続けてくれる生徒たち、応援して下さる保護者や地域の皆様、そして学校長はじめ教職員の協力に感謝の念を忘れず、今日も音楽室から聴こえてくる歌声をBGMに奔走しています。





「先生方に感謝」

鈴鹿市立創徳中学校

上 田 章 善

7年間の県教育行政での勤務を経ての久しぶりの学校現場に加え、不慣れな教頭職に四苦八苦しながら、何とか一日一日を過ごしています。

先を見通した仕事をしなければと思いながらも、そこに至らない自分を情けなく感じていますが、そんな時、校長先生をはじめ職場の方々から、たくさんの励ましをいただいたり、支えていただいたりしていることに大変感謝しております。

この感謝の気持ちを忘れずに、本校の学校づくりのキーワードである「『誠実』に『着実』にそして『子ども主体の実践』」を大切にしながら、頑張っていきたいと思います。



人とのつながりを大切に

亀山市立亀山西小学校

村 山 文 代

本校には、9年ぶりに赴任させていただきました。地域や保護者の方々、先生たちから、「お帰りなさい。」と温かい言葉をかけていただきました。4月から、教頭という新たな立場で、楽しみと不安を抱えながら赴任した私は、この言葉をいただいて、とてもほっとしました。

教頭として、一ヶ月が過ぎました。まだまだ慣れないことも多く、自分の思い描いていた理想の教頭像には程遠いですが、校長先生をはじめとする教職員、子どもたちの笑顔に支えられ

るたび、人とのつながりのありがたみを実感しています。

これからも、人とのつながりを大切にし、子どもたちや地域の方々の安心できる学校としていけるよう職務に励んでまいります。



「笑顔を忘れず」

津市立朝陽中学校

奥 田 幸 伸

これまで多くの諸先輩方から教えていただいたことを、今度は自分が伝えていきたい。そんな思いで教頭として勤務が始まりました。

前任の教頭先生に丁寧な引き継ぎをしていただいたにも関わらず、戸惑うことばかり。いろいろなことを聞かれるものの、適確に対応することができず、仕事の流れを止めてしまう。着任のあいさつで、校長先生を補佐し、みなさんが働きやすい職場を作っていきたい。そんな自分の言葉が恥ずかしい日々でした。

あるとき、「教頭先生の笑顔が安心します。」そんな言葉をかけていただきました。文書作成や報告の多さに追われる4月でしたが、笑顔を絶やさず、前向きに働いてきてよかったと励みになりました。とても、みなさんから頼りになる教頭にはほど遠いですが、笑顔を忘れず、日々努力していきたいと思います。





安心して過ごせる 学校を目指して

津市立新町小学校

東 出 賢 一

教頭として本校に赴任し、あっという間に1ヶ月が過ぎました。担任として教室で学級の子どもたちと過ごしていた日々が一変し、職員室で校務全般に携わり、校長先生をはじめ職員の方々に助けをいただきながら、何とか仕事をこなしています。教頭として改めて「学校」という存在を見つめ直し、たくさんの職員が子どもたちのためにそれぞれの仕事に一生懸命取り組んでもらっていること、たくさんの地域の方々とのつながりがあり、学校が成り立っていることを今更ながら実感しています。子どものため、職員のため、地域のため、微力ではありますが「縁の下の力持ち」となれるよう、教頭として自分のできることを、一步一步あゆんでいきたい。



心弾む景色に 想うこと

津市立白山中学校

村 井 直 人

初夏を感じさせる気持ちの良い休日。私は所用で町内巡りに。青山高原へ続く田舎道を車で走る。国道を通過して青山高原へ行くことはあったが、裏街道とも言うべき初めて通る道。意外や意外、山野と川の見事にマッチした風景に何とも言えない感動を覚え、若いころ訪れた奥入瀬を思い出し、ついついほくそ笑んでしまった。

赴任先での一大発見です。

学校へ戻ると、部活動に打ち込む先生方の姿。「お疲れ様です」の声、ベテランと若手が一緒になって笑う声に、更に私の顔は緩んでしまった。本来なら私が先生方を元気にする立場なのに、今回のようにいつも私が元気をもらっている。赴任先での一大感謝です。

良い町、良い先生方、そして良い生徒たち。それらから信頼され、頼られる教頭に何が何でもなっていかなければ、誰もが居心地の良い学校にしていかなければと、強く誓う日々を今日も過ごしています。



「温かい職場に」

松阪市立久保中学校

川 田 佳 也

この4月に松阪市立久保中学校に教頭として赴任しました。久保中学校は大規模校であり、また今までに勤務していない地域への赴任となり不安はありましたが、前任の教頭先生からも丁寧な引き継ぎをしていただき、今まで学んできたことを生かして頑張ろうという気持ちで4月を迎えました。しかし、始まってみると…。新採で初めて教員になった時のようなあたふたしている自分がそこにいました。今までに経験したことのない仕事内容に悪戦苦闘の中、校長先生のご助言や先生方の温かい言葉に仕事も気持ちも助けていただきながら一か月が過ぎました。新採の時と同様に温かい職場に入れていただき感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、自分自身が教頭としてみんなが働きやすい「温かい職場」にしていきたいと思います。



「新任の4月」

多気町立勢和小学校

青木麻純

前任の教頭先生がエンジンをかけてすぐに走り出せるようにと、整えてくださった車に飛び乗った4月。車の状態も運転方法もよく分からないままにどんどん加速する車を、何とか事故だけは起こさぬようにと走り続けたひと月でした。

その間、多くの方々との関わりがあり、その温かいお心遣いや言葉が随分と身に染みました。「教頭先生！」と、子どもたちや先生方から日に何度も呼ばれる中で、中身が満ちていない自分を省みながらも、その言葉に込められる期待と親しみを感じ、まずは日々の仕事一つひとつを大事に、前向きに健やかに過ごしてもらえる一助になろうと思っています。

5月に入り、ようやく周りの景色が少し楽しめるようになってきたところです。



初心を思い出して

伊勢市立豊浜中学校

小林孝久

教頭昇任を知った日に、あらためて思い出していた「教頭は、校長を助け、校務を整理し、…」

校長先生を補佐し、先生方や生徒たちにより良い学校環境をつくっていかう！その思いを胸に、新しい職場に向かったのは、ひと月前…。

報告書類他、未知の仕事とその多さ、迫る締切りに、助けるどころか校長先生をはじめ、周

囲の先生方に助けてもらい続ける日々を送っている。

ん？この感じ、以前に体験したなあ…。新採校で初家庭訪問。道に迷い、迫る約束の時間と戦ったあの感覚に似ているなあ。訪問先の生徒の笑顔や道案内、保護者の言葉に助けられたあの頃を思い出す。今も同じ。周囲に感謝し、背伸びせず、やれることを精一杯きちんとやっという。一年後しっかりと地に足のついた教頭になることを願って。



「挨拶から始まる」

大紀町立大紀小学校

牧久雄

朝、誰もいない職員室に入り、ブラインドを上げると大内山の山々が見える。今年は例年よりも早く桜が咲き、新緑が目に入ってくる。そして少し窓を開ける。

まず新しい勤務地で考えたことは「前に進む」である。そして新たな一步を大紀小で踏み出した。教頭として何が出来るかと考えたときに、学校で子ども達と色々な活動を通して成長できることを先生方に伝えたい。今後子ども達との関わりは少なくなるが、大紀小の教職員と共に子ども達を見守り、育てていきたい。

職員室の窓越しに、登校する子ども達の元気な「おはようございます。」の音が響き、私は「1日が始まる」と身が引き締まる。こちらも「おはようございます。」と何度も声が自然と出る。



元気です！

鳥羽市立神島中学校

谷口 三津夫

「日本中のどんな山奥の小さな町でも、どんなに遠く離れた小さな島でも子どもたちがいて、教育の現場がある。そして、そこでがんばっているなかまの先生がいる。そう感じることで、明日もがんばるぞ！って元気がわいてくる。」少し前、知り合った福井県の先生の言葉。これまで鳥羽市に勤めていながら、神島のこと何一つ知らずにきたと改めて実感した4月末。やっぱ、経験することが大事やなあ。

離島勤務は大変や！誰もがそういうイメージで声を掛けてくれる。「いやいや、大変なのは、船着き場から潮騒寮に続く、島の人らも滅多に通らん強烈な階段だけやけど」と、つぶやく。自分も今までなんも知らんとイメージだけでしゃべったんやなあ。

ゆったりとした時間の中で、27人の小中学校の子どもたちとともに楽しい毎日。

これは、イメージ通りやった。



付箋に埋もれる 机上の中で思うこと

志摩市立磯部小学校

上村 嘉房

教頭として初めて赴任した磯部小学校。磯部小学校には特別な思いがあります。11年ぶりに教育行政から学校現場に戻った6年前、もう一度自分自身を教師として育て上げてくれた学校

であり、地域でもあったからです。厳しい保護者の一言一言に戸惑い、悩み込む自身を支えてくれた教師集団、子どもの姿をみんなで追い、共に喜び、悩んだ教師集団でもありました。立場は変わりましたが、どんなに忙しくとも、子どものことを正面に据えた会話を大事にしていきたいです。現実には、メモ書きした付箋が日に日に増え、一つずつ減っては、また増え続け、決してなくなることはない毎日です。早く272人の子どもの名前を覚え、先生たちと子どものことで話ができるようになることが目標です。



「元気」を支えたい

伊賀市立久米小学校

堀川 実和子

ここ忍者の里が一面に桜の花で包まれる中、新しい学校へ着任しました。初めての職務に不安を感じながらのスタートでしたが、この一ヶ月間、電話がなればワンコールも終わらないうちに誰かが出てくれ、インターホンがなれば誰かが玄関へ走ってくれる、そんな支えてもらっている感がいっぱいの職場で、温かさや心強さを感じながら毎日を過ごしています。

校区の生活背景の厳しさもあって、日々の課題はたくさんありますが、今まで作り上げてきてもらった職場の雰囲気や大切に、一人ひとりの職員が笑顔で元気に子どもたちに向き合えるよう支えていくのが私の役目なのかなあと感じています。子どもたちの元気は職員の元気、家庭の元気、地域の元気から…とおっしゃる学校長とともに、自分も笑顔で元気に勤めていきたいと思えます。



めざすところ

名張市立美旗小学校

脇谷 明 美

4月から入学した56名の児童とともに美旗小学校の仲間入りです。

集団での登下校では、上級生と手をつないで歩く子どもたちの姿。上級生の頼もしさに心を和ませてもらったり、帰りたいたって始業前に玄関で泣き叫ぶ子どもに、発達段階の違いを実感させられたりと、中学校での経験しかない私は、自分にできることを模索する日々です。

学校に来ることを「頑張る」子どもの姿を、当たり前のように「楽しい」から学校に来る子どもの姿に。先生方と想いを共有し、めざしていきたいです。

そして、先生方のモチベーションをさらにあげていく！これももう1つのめざすところ。そのためにも、私自身が元気で笑顔で子どもたちに向き合っていきたいと思っています。



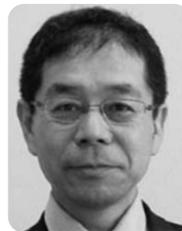
「へき地複式教育の 充実を目ざして」

紀北町立赤羽中学校

大藤 伸 之

今春、以前に勤務していた中学校に新任教頭として赴任しました。山間の小さな町にある、全校生徒16名の極小規模校です。生徒たちは純朴で、校舎にはいつも穏やかな空気が流れています。年度当初の膨大な業務をこなす中、子どもたちの笑顔に元気をもらう毎日です。過疎化の流れが加速し学校統廃合が進む中、「特色の

ある、魅力ある学校」を創っていくために、日々先生方とともに教育活動を研究し、実践しています。少人数の利点を活かした、生徒一人ひとりへのきめ細やかな授業実践や地域に根ざし愛される学校にしていくために、コミュニティ・スクールなどを通して地域の方々との交流を深めています。まだまだ模索の状態ですが、子どもたちのために頑張っていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。



20年ぶりの小学校は やっぱり…

熊野市立金山小学校

寺本 育 史

「この4月から（新任）教頭として金山小学校・」3月まで校区の有馬中学校勤務、しかも顧問だったバレー部の練習会場としてよくお世話になっていた学校なので、安心(?)して赴任することができた。中学生とのお別れでは「近くの学校」といっていたが、まさか校区の小学校とは想像できなかったことだろう。4月、金山小にくと「〇〇ちゃん、してる〜?」と声をかけてくれる子ども達。「よ〜しとるでえ。」と会話もはずみ、名前を覚えるのが苦手な自分にはとてもありがたい。PTA総会でもこれまでお世話になった保護者の方とも話ができ、校区勤務のありがたさを感じた。20年ぶりの小学校勤務。子どもたちのかわいい笑顔に元気をもらい、なれない管理職仕事に悪戦苦闘しながらも、やさしく協力してくれる職員に支えられながら、何とか4月を過ごすことができた。この原稿はGW真最中。夏休みが待ち遠しいのは、子どもだけではありませんね。

横山散歩

志摩市立大王中学校 浦谷浩治

私の家の近くに、そんなに高くもなく、さほど知られていない山なのですが、「横山」という名の山があります。私の子どもが小さい頃は、何度か家族で散歩にも出かけていました。志摩市に住んでいる私達にとっては、ごく当たり前の道を、よく知った風景を何度も見ながら歩いてきたわけですが、最近、そんな「横山」への観光客の数が急増し、土日になると、横山の麓にある「創造の森」の駐車場に向けて、何台も自動車が上がっていきます。伊勢志摩サミットから早2年が過ぎようとしています。志摩市が全国から脚光を浴び、志摩市の素晴らしい自然や文化、食、等々がメディアを通じて紹介されたからでしょうか…。



先日、ちょっとした機会を得て、ごく近くでありながら久しぶりに横山に行きました。土曜日だったためか、「創造の森」駐車場には数十台の自動車が止められ、たくさんの観光客が頂上を目指して歩いていく姿が見られました。私も自動車を降り、歩き始めました。昔は、頂上に駐車場があり自動車で上っていくこともできましたが、その駐



車場が工事中のせいか、自動車については通行止めになっていました。結構急な坂道で、私が息を切らして登っていると、下りてくる方たちから、「こんにちは」「もう少しですよ」など、温かい声をかけていただき、以前とは全く違った気分、不思議な感覚になりました。木々のトンネルを抜けて頂上付近に着くと、昔と変わらず広大な志摩半島と英虞湾を望む絶景が視界に広がります。私にとってここは、当たり前の風景、これまで見慣れてきた風景だったはずなのですが、久しぶりに登ったせいか、あるいは私自身が年をとったこともあるのか、妙に新鮮であり、また、思いの外素敵な空間にたたずみ、わかりきった風景を実にいていねい一つ一つの地域・場所をしっかりと確かめながら見ている「私」がいました。同じ風景なのですが、同じでない。時間はこの見慣れた風景を少しずつ変えてきているのでしょうか、それ以上に、見る「私」の心がその風景を変えてきていることに気づかせてくれました。

何かと忙しい毎日。「横山」から見ると、本当にごく小さな世界の中であくせく生活している「私」がいます。この日はそんな自分を見つめ直すいい一日になりました。「再考」・「再興」・「最高」。また、新たなる力が、自分の心身の奥底からこみ上げてくるようです。



郡市だより

安心・安全な学校をめざして

大台町立三瀬谷小学校 中山 恵子

多気郡は、三重県の丁度真ん中あたりに位置している自然豊かな地域です。伊勢湾に面した明和町。ここは、平安時代に天皇に代わって伊勢神宮に仕えた斎王が住まれた斎宮遺跡のある町です。その南西に、高校生レストラン「まごの店」のある多気町。そして、奈良県との県境、大台ヶ原を有し、清流宮川が流れている大台町。この宮川の水からつくられている「森の番人」という水は、G7伊勢志摩サミットでも使われました。これらの3町に、中学校が5校、小学校が15校あります。

ここまでお読みいただくと、のんびりとした地域で、子どもたちも何の心配もなく伸び伸びと成長しているように感じられたことだと思います。しかし、多種多様な自然災害の危機に直面する可能性のある日本列島に安住の地などありません。明和町は、東南海地震の津波による予想浸水面積の割合が、県下の行政区の中でもトップクラス、多気町は、地震・台風により河川の氾濫、堤防の決壊が予想され、大台町は、大雨や地震による崖崩れや土砂災害が心配されています。特に大台町では、何度か現実に土砂災害の被害を受けています。

子どもたちの安心・安全が保障されなければ、豊かな学びは生まれません。多気郡教頭会でも危機管理を研究のテーマとして取組を進めました。

各校の防災マニュアルの策定状況や校内防災委員会の状況等を確認したり、防災教育・学習や職員研修等の取組の情報交換を行ったりするとともに、防災の要としての教頭の役割を確認しました。

具体的な役割としては・・・

- ・役割と具体的な活動内容を明確にした、組織的に減災・防災に取り組める体制づくり
 - ・防災マニュアルの作成と更新、共通理解の徹底
 - ・日常的な安全点検及び安全管理
 - ・教職員の危機管理意識とスキルを高めるための研修の実施
 - ・防災教育の学習計画への位置づけ
- さらに
- ・保護者との連携
 - ・関係機関との連携
 - ・地域との連携
- 等々…

これらを具体化し、計画的、継続的に取組を進めていく必要があります。

一人の教頭だけでできること、1校の教職員だけで考えられることには限界があります。それぞれの実践や取組を交流して、災害に強い学校を作り、大切な子どもたちの命を地域ぐるみで守る体制づくりが不可欠です。知恵を出し合い、ネットワークを構築し、安心・安全な学校をめざして取組を充実することが急務です。



避難訓練の様子

